

玉川大と本学、連携協定



玉川学園内の校地にあった興亜工業大学予科校舎の一部



調印式で(左から)小宮学長、瀬戸熊理事長、玉川大の小原理事長

「新たな学際研究を期待」

両大学の関係は、本学 園内に設立されたことに
の前身の興亜工業大学が
始まる。この設立に尽力
したのが玉川大をはじめ
1942年5月、玉川学

とす玉川学園の創立者
で、日本を代表する教育
育理念の中には、国家を
導く人材を育てるために

本学と玉川大学は9月26日、包括的連携協定を締結し、玉川学園・玉川大の小原芳明理事長・
学長、本学の瀬戸熊修理事長、小宮一仁学長ら両大学の幹部が出席して、玉川学園本部（東京都
町田市）で調印式を行った。

小原國芳氏ゆかりの両大学

た。

小原氏が1921年に
提唱した「全人教育」と
いう当時、全く新しい教
育理念の中には、国家を

は個性を尊重する教育が
大切であるという考え方
があり、両大学の建学の
精神へと継承されてい
る。

この教育理念は、文部
科学省が推し進めている
大学改革における「教育
の質的保証」と「次世代
を担う人材育成」の原点
そのものだ。

玉川大は現在8学部17
学科、学生数約7300
人。玉川学園は約61万平
方メートルの広大なキャンパス
に幼稚園から小学・中学
・高等部と大学・大学院
までが集まる総合学園と
なっている。

一方、興亜工業大は終
戦前後の混乱の中で校舎
を転々とし、千葉県君津
郡に新天地を得た後、千
葉工業大学に校名変更し
た。そして大学設置に必
要な校地不足や財政難な
ど数々の困難を乗り越え
て発展し、現在5学部17
学科、学生数約1万人。
入学志願者数が4年連続

協定の連携事項

①教育研究、生涯学習、文化発展②学生の
交流③教職員の交流④地域社会の発展⑤国内
外の機関等との連携に関するい。

ニュースガイド

- 2面 パナソニックの寄附講座が開
講／タウンキャンパスでパナ
社員研修
- 3面 協本研2人が受賞／木藤さん
学生奨励賞／中村さん優秀講
演賞／早坂さん努力賞／中山
さんポスター賞
- 4面 平澤さん優秀ポスター賞／加
瀬さんF I T奨励賞／学術振
興会が東山教授を表彰／自分
だけの車いす最適化技術開発
- 5面 南房総市で台風被害復興支援
／本学で水文・水資源の総会
／神田外語大と留学生交流会
／実験動物慰霊祭
- 6面 全日本学生ダートで伊東主将
優勝、団体は準優勝／ジムカ
ーナ4位／茜浜でフラグフ
ット全国大会／新任紹介



とがあったので
す」と、小原國芳
氏と本学の森嶋・
第2代理事長の弟
・清氏にまつわる
エピソードを紹介
した。

森清氏は昭和27
年から7期、衆議
院議員を務めた。
その森清氏の選挙
演説会が勝浦で開
かれ、小原氏が応
援に駆けつけた。その時
の小原氏の迫力満点の演
説の光景が、今でも目に

焼き付いているのだとい
う。
そして、「今日は家を
飛び出した息子が、70余
年ぶりに故郷に帰ったよ
うな気持ちです」と、こ
の包括的連携協定に込め
た思いを語った。

「CanguRo」受賞候補に 英「ビーズリーデザイン賞」

未来ロボット技術研究
センター（fuRo）が
開発した、パトナロー
ボットから乗り物へと変
形する次世代モビリティ
「CanguRo（カング
ロ）」II写真IIが「ロン
ドン・デザイン・ミュ
ージアム」が開催する
「2019年ビーズリー

賞は世界的に権威を認め
られており、秋頃までに
選考会が行われる。

建築やファッション、
グラフィック、デジタル
などあらゆる分野の産業
デザインの中で、過去12
カ月間に発表された最も
革新的な作品を選ぶこの

CanguRoは「トランス
ポート」部門にノミネー
トされ、米国のビジネス
誌「フォーブス」9月10日
号は受賞の最終候補作の
1つに取り上げて、山中
俊治東大教授と千葉工大
の古田貴之fuRo所長
の作品と紹介している。

これに添えて瀬戸熊修
理事長は、「私は今日、
感無量です。というのも
子どものころ、生まれ故
郷の千葉県勝浦で小原國
芳先生の肉声に接したこ



CanguRoは来年2月9
日までロンドン・デザイ
ン・ミュージアムの企画
展で展示されている。

パナソニックと本学、連携加速

寄附講座 全15回を開講

第2回・小川副社長語る

「パナソニック・千葉工業大学産学連携センター」設立から間もなく2年。本学とパナソニック(株)の連携が加速している。9月25日、全学部生対象の正規の授業として、同社の寄附講座「モノづくりとイノベーション」が開講した。

寄附講座は来年1月22日までの全15回。小宮一仁学長も聴講した10月2日の第2回授業は、パナソニックの社内カンパニーで家電事業を担うアプライアンス社の技術担当兼技術部長（CTO）を務める、世界的なジャズピアニストの顔も持つ。この中で小川氏は「ソサエティ5.0（超スマート社会）に向かって電機業界を取り巻く環境も劇的な変化に立ち向かっている」とした。



10月2日の第2回授業

そしてパナソニックは「データしていく」という「くらし、世界をアップ」津賀一宏社長の経営理念

を掲げて、「製品の高機能・高性能化（アップグレード）を目指すのではなく、お客さまをよりよく理解し、理想のくらしに近づけていくためのモノづくり（アップグレード）に徹する」と、パナ

ソニックが全社を挙げて変革に取り組んでいることを強調した。パナソニック・千葉工業大学産学連携センターは昨年11月、パナソニック創業100周年記念フォーラムで、提携の成果第一

弾の次世代ロボット掃除機（コンセプトモデル）を発表した。小川氏は、この開発が当初、旧来のパナソニックのやり方にとらわれがちでなかなか進まなかったが、センター長を兼務

する古田貴之furo所長の「天才的なリードで一気に進んだ裏話を披露。『今後は千葉工大とのオープンイノベーションによって、高度に智能化された白物家電のデジタル開発を進めてい

く」と語った。9月25日の第1回授業は、古田所長が寄附講座全体のガイダンスを行った後、furoが開発したHalluc II xやCanguRoなどのロボットを紹介した。



9月25日のガイダンスで



furoがHalluc II xを紹介



CanguRoを試乗してみる

パナ社員、タウンキャンパスで研修

「デジタル応用」未ロボ学生も参加

パナソニックはfuroと連携して9月4、5日、本学東京スカイツリータウンキャンパスで中堅エンジニアを対象にした社員研修「デジタル技術応用塾」のワークショップを開催。本学未来口ボテックス専攻の修士課程1年生5人と同学科3年生1人も参加した。

内の人材の層が比較的薄いソフトウェア系技術者を育成するのが目的。さまざまな技術分野の垣根を越えて、上司の推薦を受けた20〜30歳のエンジニア20人が参加している。6月25日の開講式から来年2月20日の成果発表会まで、約8カ月間の長期研修だ。

この一連の研修に未ロボの学生が初めて開講式に置かれている。これから特別参加。成果報告会まで社員とほぼ同じ研修を受ける。

研修内容は、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）などのさまざまなソフトとハードを統合して成り立つロボティクスの、柔軟でスピーディーな思考法とアジャイル開発の手法を身に付けることに主眼が置かれている。

これによって、参加者一人一人に自己変革を促し、パナソニックの将来を担う「核」となるような存在に成長してほしいという願いが込められている。未ロボの学生には、参加者の自己変革の「促進剤」としての役割も期待されているようだ。

東京スカイツリータウンキャンパスでのワークショップは、この研修の「メインイベント」。「徹底的にロボットをイジリ倒す」「不真面目なことをマジメにやろう」を合言葉に、参加者は日常業務を離れたアイデア出しに挑戦していた。

また、furoの古田貴之所長も特別講演し、「役に立つモノを……」などと考えず、人にウォーシと言わせるものを、欲望のおもむくままにつくることが大切。自分やってみてみたいことにチャレンジしようよ」と激励していた。

応用塾で、自律ロボットがインスタ映えするスポットを選び自分で撮影する「インスタ映えロボット」を考えたグループ。庭を勝手に動き回り株の根っこまで始末する「自動芝刈り機」や「カブトムシ・クワガタを見分けて捕獲するロボット」を考えたグループ。



過電圧の測定技術で

脇本研2人が受賞

通り。

● 野口絵理華さん

電気学会の令和元年電力・エネルギー部門大会（9月3～6日、広島市の広島工業大・五日市キャンパスで開催）で、若手研究者の優れたポスター発表に贈るYPC (Young engineer Poster Competition) 優秀発表賞に野口絵理華さん（電気電子情報工学専攻修士1年、脇本隆之研究室）、同奨励賞に澤田幸希さん（同）が選ばれた。

電力系統は雷害などの高電圧・大電流から守られなければならない。2人は大電流計測技術のバイオニアの1人・脇本教授の研究室でインパルス電圧の計測や高電圧放電現象の解析を研究している。

急峻波電圧とは、ガス絶縁開閉装置内や電子機器で生じる急な過電圧。測定には分圧器や測定器が必要だが、大型の分圧器になると応答が遅く、

正確に測定できない。野口さんは測定波形と既知の応答波形をデコンボリューションで算出する技法で、波形評価のアルゴリズムを検討した。

「学会発表は初めてで脇本先生のご指導で受賞正を行つたための定格電圧

できました。つらいときもありましたが仲間や先輩方に協力いただき感謝しています。人と話すことが好きでそれを生かせたいと思っています」

● 澤田幸希さん

「2kV級電圧インパルス電圧測定システム用校正器の開発」

国家標準級電圧インパルス電圧測定システムの校正を行うための定格電圧

屋上緑化 排水遅延効果は…

中村さん優秀講演賞

日本材料学会関東支部の2019学生研究交流会（9月21日、横浜市の慶應大・矢上キャンパスで開催）で、中村沙彩さん（建築都市環境学専攻修士1年、石原沙織研究室Ⅱ写真右）が「屋上緑化の土壌と植物が雨水排水遅延効果に及ぼす影

響」をポスター発表し、優秀講演賞を受賞した。石原准教授の研究室では、建物を長寿命化させる内外装仕上げ材料や、屋上・壁面緑化、漆喰や畳などの伝統材料を研究している。屋上緑化については、集中豪雨で都市型洪水が増す今、雨水排

水にどう遅延効果を及ぼすのか確かめる必要がある。中村さんは土壌の水分吸着力を測るpH値と土壌の厚さ、植物が降雨を遮断する効果を測定。▽土壌はpH値や土壌厚が増えると雨水排水の遅延効果が増す▽植物は降雨時の

水にどう遅延効果を及ぼすのか確かめる必要がある。中村さんは土壌の水分吸着力を測るpH値と土壌の厚さ、植物が降雨を遮断する効果を測定。▽土壌はpH値や土壌厚が増えると雨水排水の遅延効果が増す▽植物は降雨時の

水にどう遅延効果を及ぼすのか確かめる必要がある。中村さんは土壌の水分吸着力を測るpH値と土壌の厚さ、植物が降雨を遮断する効果を測定。▽土壌はpH値や土壌厚が増えると雨水排水の遅延効果が増す▽植物は降雨時の

水にどう遅延効果を及ぼすのか確かめる必要がある。中村さんは土壌の水分吸着力を測るpH値と土壌の厚さ、植物が降雨を遮断する効果を測定。▽土壌はpH値や土壌厚が増えると雨水排水の遅延効果が増す▽植物は降雨時の



優秀発表賞の野口さん(左)と奨励賞の澤田さん

農家のGAP取得を援助

木藤さん学生奨励賞

情報処理学会のコンシューマ・デバイス&システム研究会（8月29、30日、神奈川県三浦郡葉山町の葉山港管理事務所で開催）で、2019年度

学生奨励賞（該当一件だけ）に木藤風花さん（知能メディア工学科4年、森信一郎研究室Ⅱ写真）の「現代中堅農家の海外進出を支援するシステムの開発に関する研究」が選ばれた。

森教授の研究室では、センサーネットワークやスマートフォンなどの情報通信技術を活用して、

よりよい暮らしを創造する研究が行われている。木藤さんは、国内農家が良質な作物を生産しているのにGAP（農業生産工程管理の認証）を取得しないために、輸出や来年の五輪大会での提供で不利なことに着目。

GAP取得に必要な生産過程などの記録提出にパソコンやスマホを使った記録ソフトが販売されているが、入力項目が200余と多く、導入コストも農家の負担になっている。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。



木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

木藤さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

色変化素材へ薄膜づくり

中山さんにポスター賞

応用物理学会の2019年秋季学術講演会（9月18～21日、札幌市の北海道大で開催）で、中山佳之さん（機械サイエンス専攻修士1年、井上泰志研究室Ⅱ写真）が「反応性スパッタリング法および反応性蒸着法による微絨毛構造化」の作製」をポスター講演し、「Poster Award」を受賞した。

中山さんは井上教授のところで薄膜材料工学、プロトクロミック（Photochromic）から暗褐色へ可逆的な色変化（吸着誘起型エレクトロクロミック）を

中山さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

中山さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

中山さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。



中山さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

中山さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

中山さんは「学会発表は初めてで緊張しましたが、受賞できると思っていました。大変うれいでした」と語った。

浮遊技術でメモリ材料追究

早坂さん努力賞

日本鉄鋼協会の第178回秋季講演大会（9月11～13日、岡山市の岡山大・津島キャンパスで開催）で、早坂耀さん（機械サイエンス専攻修士1年、小澤俊平研究室Ⅱ写真）が「希土類・遷移金属酸化物における六方晶と斜方晶の関係」を発表し、努力賞を受賞した。

従来のメモリは、電気

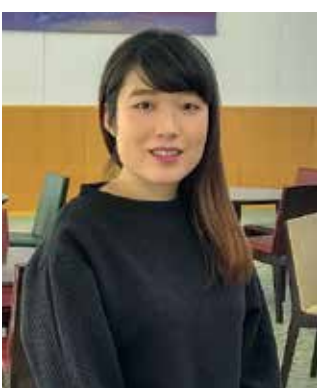
の十と一や磁石のS極N極を制御して記録している。希土類元素とマンガンの酸化物である希土類

の十と一や磁石のS極N極を制御して記録している。希土類元素とマンガンの酸化物である希土類



早坂さんは「他大学・企業関係者の前で発表は緊張しましたが、努力が評価され、うれしく思います。小澤先生と栗林一彦先生（附属研究所客員研究員）に感謝します」と語った。

早坂さんは「他大学・企業関係者の前で発表は緊張しましたが、努力が評価され、うれしく思います。小澤先生と栗林一彦先生（附属研究所客員研究員）に感謝します」と語った。



降雨量に及ぼす影響が大きいく、緑被率と葉の重なりによる影響は小さい——などを計測で裏付けた。

安定データが取れるまで実験を続け、雨の中の夜中に測定したり、終電で帰宅した

安定データが取れるまで実験を続け、雨の中の夜中に測定したり、終電で帰宅した

銅の電解精製を高効率に

■ 平澤さん優秀ポスター賞



資源・素材学会関東支部の第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会（8月2日、東京・駒場の東大生産技術研究所で開催）のポスターセッションで、平澤広太さん（先端材料工学科4年、小山和也研究室Ⅱ写真）が「レーザー光を利用した電解中のこぶ検出について」を発表し、優秀ポスター賞を受賞した。

資源・素材学会関東支部の第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会（8月2日、東京・駒場の東大生産技術研究所で開催）のポスターセッションで、平澤広太さん（先端材料工学科4年、小山和也研究室Ⅱ写真）が「レーザー光を利用した電解中のこぶ検出について」を発表し、優秀ポスター賞を受賞した。

電気分解（電解精製）を施し99・99%以上の電気銅を得るが、突起状の「こぶ」ができる異常析出が起きるとショットし、電解効率が低下する。平澤さんはこぶの形成をレーザー光で検出する手法に取り組んだ。初期段階として、レーザー距離計による応答を調べ、こぶの位置と測定距離との間に一定の相関関係があること、銅電解液では波長555nmの緑のレーザーが有効なことなどを明らかにした。平澤さんは受賞に「驚きました。研究室では初めての研究で、装置を二から製作し、実験方法も試行錯誤を繰り返しました。（受賞は）助言を頂いた小山先生のおかげで、今後も精進していきたいと思っています」と述べた。

学術振興会が東山教授を表彰

書面審査に有意義意見



創造工学部（教育センター）の東山幸司教授Ⅱ写真Ⅱが6月30日、日本学術振興会から平成30年度・特別研究員等審査会専門委員（書面担当）として表彰され、小宮学長から賞状が手渡された。学術振興会は特別研究員を書面審査で選考する

仮想現実技術で防災訓練

加瀬さんFITT奨励賞

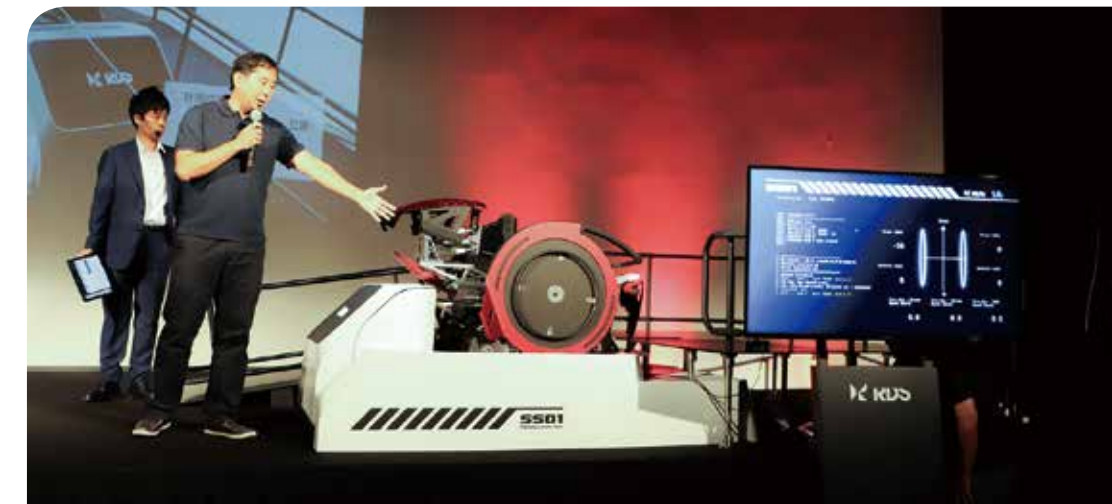


災害対策では防災訓練が重要だが、現実避難経路の確認程度にとどまり参加者の意欲も低いようだ。XR（仮想体験）技術で災害環境を再現すれば、もっと主体的に関われるのではないか。

加瀬さんは現実とデジタル世界の橋渡しをするMR（複合現実）技術と、マルチエージェント（複数の課題をシステム

を試作し、検証を試みた。参加者はゴーグルを通して制御AIが見せる災害環境（火災など）を立体的に体験。AIの助けで対処法を学ぶ。全体で達成する技術を用いた防災訓練システム

合現実デバイス（HoloLens）はまだ希少で、加瀬さん自身、初めてXR技術に触れ、開発に苦労したという。防災訓練という社会で重要な問題を扱いXRを取り込んだ将来性ある研究と評価された。



①「SS01」を報道陣に説明するfuRoの清水正晴副所長
② 西暦2100年の東京を疑似体験できる「CYBER WHEEL X」



自分だけの車いす最適化技術

fuRoと㈱RDSが開発

車いすを使う人の障害の程度や体格などを短時間で綿密に測定・数値化し、「自分だけの車いす」作りをするためのシミュレーターを、本学未来ロボット技術研究センター（fuRo）が開発。9月18日、

「SS01」と名づけて報道関係者などに公開された。SS01は車いすを使う際のシートポジションやハンドリム（車輪の外側に付いている持ち手）を漕ぐ腕の力など、さまざまなパーソナルデータを取得し最適化するシステム。fuRoが開発した「HalluciniX」や「Ganglio」など培ったロボット技術——①多関節制御技術②トルクや重心変動の計測技術③ホイールの負荷制御技術——が応用されている。

また、SS01の公開に合わせて、fuRoがRDSと㈱フロントウェンに技術協力して開発した「CYBER WHEEL X」もお披露目された。これはVR技術を使い、車いすをかたどった筐体に乗って、西暦2100年の東京の街を高速で駆け抜ける疑似体験ができる娯楽施設。

△fuRoが開発した「HalluciniX」や「Ganglio」など培ったロボット技術——①多関節制御技術②トルクや重心変動の計測技術③ホイールの負荷制御技術——が応用されている。fuRoはSS01をRDSから協力依頼を受けて約2カ月で開発したという。RDSは国立障害者リハビリテーションセンター研究所と共同で、このSS01を使って多くの車いす使用者のパーソナルデータを収集・解析するプロジェクトをスタートさせている。これによって

頻発する豪雨災害や、地域から地球規模に及ぶ水循環などの研究成果を持ち寄る水文・水資源学会の2019年度総会・研究発表会が9月11～13日、本学津田沼キャンパスで開かれた。

本学での開催は初めてで松島大・都市環境工学科教授が実行委員長を務めた。研究者ら約270人が参加。6号館講義棟

水文・水資源の総会 本学で

270人参加し討議

の3会場で口頭・ポスター発表や企業展示、特別講演が行われ、活発な議論が交わされた。

マによる83件のポスター発表——など。

12日午後には「JWS（持続可能な開発目標）」



Future Earth 時代の科学と社会の協働のあり方」と題し、研究者と千葉県内の環境活動に携わる市民が特別連続講演。環境問題解決に向けた研究者と市民の協働のあり方を議論した。

同夜には1号館20階・展望ラウンジで懇親会が開かれ、小宮一仁学長が祝辞を述べた。写真。研究チームで交流する一方、晴れば東京湾や富士山を望むツインタワーが会場の話題を誘っていた。



惑星探査ゾーン「はやぶさ2」の模型の前で

その後、懇親会に移り4グループに分かれて軽食を取りながら交流した。ネームリングは、自己紹介しながらビンゴカードを作り、くじで名前を呼ばれた学生が感想を発表するコーナー。大学・国・言語の壁を超えて活発な交流が展開された。



小宮一仁学長と教職員・学生約80人が参列。順番に献花して動物たちに感謝と哀悼の意を捧げた。本学は科学技術の発展がこれら動物たちの犠牲の上に成り立っていることを再認識し、強い倫理観を持って教育・研究を進めていく。

倒壊家屋の瓦や破片を撤去し集積所へ運搬（大井地区で）



破損した農業用ハウスの屋根をプラスチック波板でふさぐ学生たち



千葉県に甚大な被害をもたらした台風15号（9月9～12日）の通過後、9月14日から復興に向け産学協働地域活力創造事業を進めている南房総市へ、9月15～23日の9日間に加藤和彦研（PM）や中川泰宏研（NS）、赤澤智津子研（デザ）、鎌田元弘研（都市）、五明美智男研（生命）、関研一研（PM）、坂本泰一研（生命）、南澤慶寛准教授などの学生・教員延べ

台風爪痕 南房総市で復興支援

学生・教員延べ100人ボランティア

本格的なボランティア活動が始まった。本学では以前から共に産学協働地域活力創造事業を進めている南房総市へ、9月15～23日の9日間に加藤和彦研（PM）や中川泰宏研（NS）、赤澤智津子研（デザ）、鎌田元弘研（都市）、五明美智男研（生命）、関研一研（PM）、坂本泰一研（生命）、南澤慶寛准教授などの学生・教員延べ

100人がそれぞれに日程を生み出して駆けつけ復旧作業に加わった。連携支援の窓口を務めた南房総市市民課市民協働グループから「マンパワー」と要請があったもので、現地入りの学生・教員たちは「千葉工大が地域になくてはならないパートナーと痛感しました」と感謝の言葉が寄せられた。

住民からは「学生さんたちの若い力が、とても助かりました」「千葉工大が地域になくてはならないパートナーと痛感しました」と感謝の言葉が寄せられた。

シニアアップシニアハム校舎とキンセンカ農場被害の片づけ▽支援物資の搬入搬出や仕分け——などをこなし、

手紙には「被害に直面し、これまで当たり前だったことがありがたい」ことなどと感じました「登校して救援のパンとお水をいただき、久しぶりに友だちと笑い合えることができました」などこづつられていた。

11カ国学生が交流会

神田外語大・本学の30人集合

本学学生課と、包括連携協定を結んでいる神田外語大の国際交流課が共催して9月21日、留学生の交流イベントを東京ス

カイツリータウンキャンパスで開いた。本学留学生14人、外語大は日本人学生を含む16人と、計11

面緊張をほぐす「アイスブレイク」クイズが出され徐々に笑いの輪が広がった。

1人は「普段接することのできない理系学生と交流できて、とても刺激になりました」。

学生課は、今後もキャンパス相互訪問など交流の機会を広げていく予定という。



懇親会で。国を超えてようやく会話が……

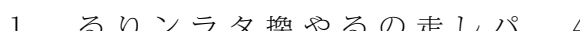


参加者全員で記念撮影

全日本学生ダート 団体は準優勝



ジムカーナの



ラグビー日本代表がグループリーグ1位でベスト8進出を決めた。

ラグビーは他のスポーツ

四季雑感



着いて行けずに、迷惑を掛けてしまいました。そ

かのてでた。自身の進言の悪さや、進行の対応に

松井 俊明 同窓会副会長

ことを考えると、購入しておいて良かったと今では胸を撫で下ろしている。人のことは言えないが日本人はつづく流行に左右されやすいと感じた。ここからは負けたら終わりのトーナメント方式だが、この勢いのままで

同窓会副会長という大役を任されてから早、一年数カ月となりますが、十分な、大役に応じた役割を果たせていません。先だっでの同窓会総会において、司会を任され

事するように、これから、会社の上司や部下の関係とは違い、同じ学び舎で暮らした様々な年代の知り合いができ、世間話や母校について語り合いい、いつも楽しいひと時をもらっています。

同窓会会員並びに今後会員となられる在学生の皆様も同窓会活動に関心を向け、各支部への加入

役を任されてから早、一年数カ月となりますが、十分な、大役に応じた役割を果たせていません。先だっの同窓会総会において、司会を任されたのですが、自身の滑舌の悪さや、進行の対応に著いて行けずに、迷惑を掛けてしまいました。そ

いいいつも楽しいひとときをもらっています。

同窓会会員並びに今後会員となられる在学生の皆様も同窓会活動に関心を向け、各支部への加入やイベント参加をお願いいたします。

同窓会副会長
松井 俊明

ジムカーナは4位

伊東主将は「国内の強豪校が競う中、個人優勝と団体2位、と結果を出せました。今までの努力が報われてよかった」と笑顔で語った。

宴会

んな中、総会終了後、先輩の支部長より、「司会
は慣れたから」と言っ

事するようになってからは、会社の上司や部下の関係とは違い、同じ学び

フラッグフット 茜浜で全国大会

4大学
104人

競技を終えて参加者全員で記念撮



競技は13日が大学対抗戦。参加14チームが4ブロックに分かれて行う総当たり戦でブロックごと

*

の順位を決め、次いで各ブロックの同順位チームによるトーナメント戦で、トーナメント内の順位を決めた。この結果、1位トーナメントでは東京芸大が優勝した。

14日は、4大学の垣根を越えた混成12チームが前日同様、ブロック内総当たり戦とトーナメント戦を行い、本学と筑波大生3人ずつが組んだ「フアブリーズ」が1位トーナメントを制した。

小早川 真衣子
こばやかわ まいこ
(知能メディア工学科
助教)



9月に甚大な被害をもたらした台風15号に続き、復興もままならない翌月の10月には台風19号が再び関東に直撃するとのニュースを受け、天気予報が外れればいいのに……と願うしかなかった週末。

大型で強い台風19号

け、私たちを驚かせた。
 今なお被害に苦しむ多
 くの方々がいらっしゃる
 と思う。被災された皆さ
 まに心からお見舞いを申
 し上げるとともに、一日
 も早い復旧、復興を祈る
 ばかりです。

入証広報課
 大橋 慶子

編集だより

日本が強豪国のアイルランドやスコットランドに勝つことは日本ラグビーの歴史をよく知っている

きるのではないかと期待に胸を膨らませている。
がんばれ！日本！！
学務課 砂田 一貴

ラグビーは他のスポーツに比べてジャイアントキリングが起きにくいスポーツと言われている。

だが、この勢いのままでいけばこの希少価値が高まったユニフォームを身

ラグビー日本代表がグループリーグ1位でベス

人のことは言えないが日本人はつづく流行に左右されやすいと感じた。ここからは負けたら終

雜感



ことを考えると、購入しておいて良かったと今は胸を無で下ろしている。

おいても、司会を任せられたのですが、自身の滑舌の悪さや、進行の対応に
着いて行けずに、迷惑を

を向け、各支部への加入
やイベント参加をお願い
いたします。

年数力月となりますが、十分な、大役に応じた役割を果たせていません。先だっの司窓会総会に

をもらっています。

同窓会会員並びに今後
会員となられる在学生の
皆様も同窓会活動に関心

同窓会副会長という大

関係とは違い、同じ学舎で暮らした様々な年代の知り合いができ、世間話や母校について語り合

会

事するようにしてから
は、会社の上司や部下の